感染症速報

作成日:令 和 5 年 1 月 10 日

第1週　1月1日　～　1月7日　http://www.pref.nagasaki.jp/department/iki-h/index.html

	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り
インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	
警報:開始30 終息10	21.0	警報:開始 - 終息 -	0.0	警報:開始3 終息1	0.0	警報:開始8 終息4	0.5
感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑	
警報:開始20 終息12	0.0	警報:開始2 終息1	0.0	警報:開始5 終息2	0.0	警報:開始2 終息1	0.0
突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		新型コロナウイルス感染症	
警報:開始 - 終息 -	0.0	警報:開始6 終息2	0.0	警報:開始6 終息2	0.0	警報:開始 - 終息 -	4.0

発生報告なし	少数の発生あり	流行に注意 【注意報レベル】	流行中 【警報レベル】
---	---	---	---

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし)。注意報レベル基準値は、ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ:10 水痘:1 その他は設定なし。

お知らせ

≪インフルエンザについて≫

現在壱岐地区にインフルエンザ流行警報が発表されています。

2024年第1週の定点当たりの報告数は「21.0」でした。

週	長崎県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
52週	26.36	16.64	36.06	20.67	13.83	18.09	25.88	43.75	4.75	53.00	48.33
1週	16.94	7.45	15.71	21.00	13.50	13.55	34.25	17.75	6.75	38.33	19.00

※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

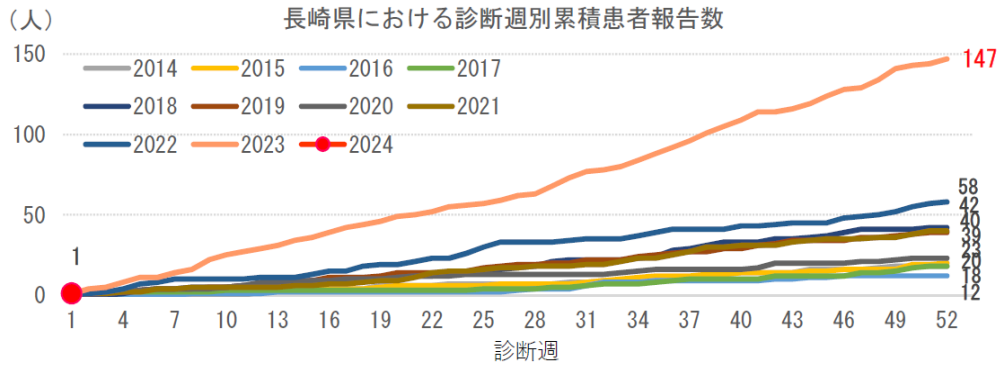
≪新型コロナウイルス感染症の発生状況≫

	長崎県	長崎市	佐世保市	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	壱岐	対馬
報告数	528	117	50	47	66	132	50	12	13	12	29
定点数	70	17	11	6	11	8	4	4	3	3	3
定点当たり報告数	7.54	6.88	4.55	7.83	6.00	16.50	12.50	3.00	4.33	4.00	9.67

2024第1週の新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は「7.54」で2週続けて増加しました。

今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、3密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

壱岐保健所の2024年第1週の定点当たりの報告数は「4.0」でした。

≪梅毒の患者数が増加しています≫

長崎県では2023年に147件の梅毒の報告があり、現行の調査が開始されて以降、過去最多の報告数となっています。
年代別にみると、20代が全体の4割以上を占めています。男女別にみると、男性では20代および30代、女性では20代が多くなっています。梅毒は梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症で、感染者との粘膜の接触を行う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する（＝先天性梅毒）経路があります。感染後3～6週間の潜伏期を経て、初期には感染部位の病変（初期硬結、リンパ節腫脹等）、続いて血行性に全身へ移行して皮膚病変（バラ疹や梅毒疹等）や発熱、倦怠感等の多彩な症状を呈するようになります。無治療の場合、感染から数年～数十年経過すると心血管梅毒、神経梅毒に進展します。また、妊娠中に感染すると、お腹の中の赤ちゃんに感染し、流産や死産の原因になったり、障害を持って生まれてくることがあります。妊娠早期に発見、治療すれば赤ちゃんに影響を与える可能性も低くなります。県内では2023年に妊娠中7名の報告が上がっています。
梅毒は早期診断、早期治療が重要ですので、感染を疑われる症状がみられた場合、感染の不安がある場合には、
早期に医療機関を受診しましょう。また県内の保健所では、無料の相談・検査を受けられます（事前の連絡・予約が必要）。
感染を予防するにはコンドームを適切に使用することや感染のリスクとなる不特定多数の人との性的接触を避けることが重要です。
詳細は長崎県感染症情報センター「梅毒の発生状況」に掲載しています。